

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九三六	昭和11	10/3~	四ツ橋文楽座	釣 女	(太郎冠者一相生・醜女一伊達・美女一源路・大名一和泉＝道八・ツレ 友衛門・喜代之助・一郎右衛門)。 ※榎茂都陸平＝振附(筋書)。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(光之助)、醜女(紋十郎)。
一九三七	昭和12	6/11~13	東京明治座	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一呂・美女一源路改メ 源・醜女一伊達・ツレ 宮・相瀬＝道八・重造・喜代之助・友駒・清若・新太郎・吉季・清友)。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(光之助)、醜女(紋十郎)。
一九三七	昭和12	7/18~20	京都南座	釣 女	(太郎冠者一相生・美女一源・醜女一伊達・大名一長尾・ツレ 常子・宮＝道八・吉弥・吉左・友駒・清若・清友・友三郎)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付(番付)。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(光之助)、醜女(紋十郎)。
△一九三七	昭和12	9/13~14	名古屋御園座	(釣 女)	(相生・呂・伊達＝清二郎・吉左)。 ※大阪文楽座巡業(9月11~19日、東海)の内。 ※『浄瑠璃時報』第191号、『御園座七十年史』、「新愛知」(9月1~5・8~12・14・16日の記事、9月4・8~16日の広告)に拠る。	(不明)
一九三八	昭和13	3/16~20	北陽演舞場	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一つばめ・美女一源・醜女一伊達＝道八・吉左・喜代之助・友太郎・友三郎・吉蔵)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付(番付)。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(文作)、醜女(紋十郎)。
△一九三八	昭和13	8/8~9	京都南座	(釣 女)	(太郎冠者一相生・大名一長尾・醜女一伊達・美女一源・辰・播路＝広助・寛治郎・友衛門・吉季・他)。 ※つばめ太夫改め竹本織太夫・団二郎改め竹沢団六襲名披露。 ※『浄瑠璃雑誌』第373号には、豊竹辰太夫・竹本播路太夫・鶴沢友衛門の記載はない。 ※『浄瑠璃雑誌』第373号、『昭和の南座 資料編(上)』、「京都日日新聞」(8月8・10日)に拠る。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(文作)、醜女(紋十郎)。
一九三九	昭和14	7/8~17	四ツ橋文楽座	釣 女	(太郎冠者一源・大名一富／千駒／播路・美女一さの／常子／英・醜女一呂／伊達＝寛治郎／友衛門・叶太郎・友太郎・友十郎・仙作・竜市・仙松)。 ※千種楽は『道頓堀』第152号に拠る。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(栄三郎)、醜女(紋十郎)。
一九三九	昭和14	8/5~8	東京明治座	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一織・美女一播路・醜女一伊達＝道八・団六・清友・仙松・団作・友衛門)。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(栄三郎)、醜女(紋十郎)。
△一九三九	昭和14	9/6	名古屋御園座	(釣 女)	(和泉・伊達・源＝友衛門)。 ※『浄瑠璃雑誌』第382号、『御園座七十年史』、「新愛知」(9月1~3・5~6日の記事、9月1~7日の広告)に拠る。	(不明)
△一九三九	昭和14	9/20	博多大博劇場	(釣 女)	(掛合 和泉・播路・伊達＝清二郎)。 ※文楽座巡業(9月9~20日、神戸・鳥取・博多・他)の内。 ※「福岡日日新聞」(9月12・16・18~20日の記事、9月15日の広告)、「九州日報」(9月16~17・19~20日の記事、9月15日の広告)に拠る。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、醜女(紋十郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△	一九四〇	昭和15	9/8	満州菽町 奉天記念会館	(釣 女) ※文楽座巡業(9月、大陸)の内。 ※「満州日日新聞」(9月7~8日の記事、9月4~7日の広告)に拠る。	(不明)
	一九四一	昭和16	1/1~26	四ツ橋文楽座	釣 女 (太郎冠者一相生・大名一呂・美女一雛・醜女一伊達=吉五郎・重造・吉左・吉季・清友・友衛門)。 ※千種楽は『文楽興行記録昭和篇』に拠る。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(文作)、醜女(紋十郎)。
	一九四一	昭和16	7/11~15	東京 新橋演舞場	釣 女 (太郎冠者一相生/織・大名一織/相生・美女一津磨/宮/越名・醜女一南部/伊達=吉五郎・重造/友衛門・団六・吉季・清友・勝芳)。 ※7月13日ラジオ中継放送。配役は(太郎冠者一相生・大名一南部・美女一津磨・醜女一伊達)(『太棹』第128号、「朝日新聞(大阪版・東京版)」(7月13日)に拠る)。	大名(玉幸)、太郎冠者(栄三)、美女(光之助)、醜女(紋十郎)。
	一九四二	昭和17	7/21~25	東京 新橋演舞場	釣 女 (太郎冠者一相生/織・大名一つばめ・美女一越名・醜女一南部=吉五郎・団六・勝芳・清友・一郎右衛門・団作/清広)。	大名(玉幸改め 玉助)、太郎冠者(栄三)、美女(栄三郎)、醜女(紋十郎)。
	一九四三	昭和18	10/31~ 11/24	四ツ橋文楽座	釣 女 (太郎冠者一相生/織・大名一源/文・美女一雛/宮・醜女一伊達/南部・ツレ つばめ/浜・源/文=道八・友衛門・燕三/市治郎・清友/錦糸・吉五郎/団六・友平/団伊三・喜左衛門/重造)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※千種楽は「毎日新聞(大阪版)」(11月20日)、「朝日新聞(大阪版)」(11月23日)に拠る。	大名(玉助)、太郎冠者(栄三)、美女(栄三郎)、醜女(紋十郎)。
	一九四三	昭和18	12/15~21	東京 新橋演舞場	釣 女 (太郎冠者一住・大名一浜・美女一宮・醜女一南部・ツレ 文字=友衛門・吉三郎・燕三・仙三郎・広若・団伊三)。	大名(玉助)、太郎冠者(栄三)、美女(栄三郎)、醜女(紋十郎)。
	一九四四	昭和19	11/10~28	四ツ橋文楽座	釣 女 (太郎冠者一相生/呂・美女一宮・醜女一南部/伊達・大名一重=清二郎・吉三郎・錦糸・新三郎・寛弘・広助/仙糸)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(玉助)、太郎冠者(光造)、美女(紋司)、醜女(紋十郎)。
	一九四五	昭和20	7/11~20	朝日会館	釣 女 (太郎冠者一住・大名一南部・美女一宮・醜女一伊達=清二郎・友平・錦糸・仙松・寛治郎/喜左衛門)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※朝日新聞大阪厚生事業団主催、第1回復興公演。	大名(玉助)、太郎冠者(栄三郎)、美女(紋太郎)、醜女(紋十郎)。
△	一九四五	昭和20	9/1~6	京都 南 座	釣 女 (掛合)。 ※『昭和の南座 資料編(上)』、『文楽人形の芸術』、「京都新聞」(8月27~28・30~31日・9月1・6~7・12~13日の広告)に拠る。	(不明)
△	一九四五	昭和20	11/16~21	神戸 八千代座	釣 女 ※「神戸新聞」(11月16・21日の広告)に拠る。	
	一九四六	昭和21	3/31~4/14	京都 南 座	釣 女 (太郎冠者一住・大名一司・美女一宮・醜女一雛=重造・吉三郎・勝太郎・錦糸・寛弘)。	大名(玉助)、太郎冠者(光造)、美女(紋司)、醜女(紋十郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九四六	昭和21	12/5~23	四ツ橋文楽座	釣 女	(太郎冠者一七五三・大名一浜／つばめ・美女一越名・醜女一相生／呂／織／伊達＝寛治郎・吉三郎・勝太郎・錦糸・仙松・団作・吉五郎／友衛門／団六／喜左衛門)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。	大名(玉助)、太郎冠者(栄三郎)、美女(紋司)、醜女(光造)。
		12/24			(太郎冠者一隅若・大名一古住・美女一織の・醜女一隅寿＝友衛門・新三郎・寛弘・仙松・広助)。 ※第3回若手向上会。	大名(玉男)、太郎冠者(紋昇)、美女(紋三郎)、醜女(紋之助)。
一九四七	昭和22	11/8~28	四ツ橋文楽座	釣 女	(太郎冠者一住・大名一古住・美女一源／浜・醜女一浜／源・ツレ 富＝吉五郎・友衛門・吉三郎・八造・勝太郎・市治郎・仙松)。 ※故鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。鶴沢道八追善芸題。 ※千穉楽は『松竹百年史』に拠る。	大名(紋昇)、太郎冠者(玉市)、美女(紋之助)、醜女(紋十郎)。
△一九四八	昭和23	5/29	富山富山座	(釣 女)	※姫路・北陸巡業(5月公演打上げ後~29日)の内。 ※「富山新聞」(5月23日の広告)に拠る。	(不明)
△一九四八	昭和23	12/3~4	高知堀詰座	(釣 女)	※「高知新聞」(12月1・4日の広告)に拠る。	(不明)
△一九四八	昭和23	12/14~15	福知山市福知山市公会堂	(釣 女)	掛合。 ※「京都新聞」(12月11日の広告)に拠る。	
△一九四九	昭和24	1/16	浜松江東劇場<組合>	(釣 女)	※「浜松民報」(1月15日の広告)に拠る。	(不明)
△一九四九	昭和24	1/18	愛知県知多市喜楽座<組合>	(釣 女)	※チラシに拠る。	(不明)
一九四九	昭和24	3/3~30	地方公演(九州)<組合>	釣 女	(太郎冠者一七五三・大名一古住・美女一呂賀・醜女一越名＝友衛門・燕三・寛弘・錦糸)。	大名(亀三)、太郎冠者(紋昇)、美女(紋之助)、醜女(紋十郎)。
△一九四九	昭和24	9/28~29	和歌山県新宮市日の出映画劇場<組合>	(釣 女)	(太郎冠者一つばめ・大名一松島・美女一古住・醜女一伊達＝寛治郎・燕三・勝太郎・寛弘)。 ※巡業の内。新宮市警察署庁舎落成記念興行。 ※「紀南新聞」(9月27日の広告)に拠る。	(不明)
△一九四九	昭和24	12/24	浪華屋百貨店<組合>	(釣 女)	(太郎冠者一つばめ・大名一司・美女一呂賀・醜女一越名＝友衛門)。 ※「大阪日日新聞」(12月19日)に拠る。	(不明)
△一九五〇	昭和25	2/11~12	兵庫洲本劇場<組合>	(釣 女)	※淡路芸能文化協会主催、洲本市制10周年記念行事。 ※「神戸新聞(淡路版)」(2月10日)に拠る。	(不明)
一九五〇	昭和25	3/4~8	東京新橋演舞場<因会>	釣 女	(太郎冠者一浜・大名一隅若・美女一宮・醜女一雛・ツレ 織の・弘＝松之輔・八造・新三郎・清友・寛弘・広助)。	大名(玉市)、太郎冠者(光造)、美女(光次)、醜女(紋司)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△一九五〇	昭和25	5/1	石巻市 岡田劇場 〈組合〉	(釣 女)	※東北・北海道巡業(4月30日～、13日間)の内。5月5～6日函館市・宝劇場、5月11日小樽市・松竹映画劇場で同公演あり。 ※「石巻新聞」(4月30日の広告)、「石巻日日新聞」(4月28日の広告)、「函館新聞」(4月30日の記事、5月5・6日の広告)、「北海タイムス」(5月9日の記事、5月3・9日の広告)、『三和会公演控』、『文楽因会三和会興行記録』に拠る。	(不明)
一九五〇	昭和25	7/6～	地方公演 (東北・長野) 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一静・大名一織の・美女一織部・醜女一雛・ツレ 相次=八造・新三郎・友十郎)。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(紋司)。
一九五〇	昭和25	9/7	和歌山 湯浅町警察署 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一松島・大名一古住・美女一呂賀・醜女一越名=勝太郎・ツレ 市治郎・燕三・団作)。 ※鶴沢道八師=作曲。	(不明)
△一九五〇	昭和25	9/16	愛媛 三津永楽座 〈因会〉	(釣 女)	※愛媛巡業(9月10日～)の内。台風のため9月15日の郡中より一旦帰阪(『幕間』(昭和25年10月号))とあるので、この公演は中止カ。 ※「愛媛新聞」(9月10・15日の記事、9月6日の広告)に拠る。	(不明)
△一九五〇	昭和25	9/28	田辺市 常盤座 〈三和会〉	(釣 女)	※和歌山巡業の内。 ※「紀伊民報」(9月6日の記事、9月20・28日の広告)に拠る。	(不明)
△一九五〇	昭和25	11/25	鹿児島市 日本劇場 〈因会〉	(釣 女)	(太郎冠者一松)。 ※九州・山陰巡業の内。11月24日熊本・歌舞伎座、28日佐世保市・佐世保市公会堂、30日小倉・小倉劇場で同公演あり。 ※「南日本新聞」(11月24・26日の記事、11月24日の広告)、「熊本日日新聞」(11月19・21日)、「時事新聞」(12月1日の記事、11月28日の広告)、「西日本新聞(北九州版)」(11月29日の広告)に拠る。	(栄三)。
一九五〇	昭和25	12/8～13	東京 三越劇場 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一七五三・大名一司・美女一越名・醜女一源=清二郎・吉三郎・団作・一郎右衛門・猿二郎)。	大名(作十郎)、太郎冠者(紋昇)、上臈(紋之助)、醜女(紋十郎)。
一九五〇	昭和25	12/17～18	京都 宮川町歌舞練場 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一司・大名一つばめ・美女一呂賀・醜女一古住=叶太郎・錦糸・団作・一郎右衛門・猿二郎)。	大名(作十郎)、太郎冠者(紋昇)、美女(紋之助)、醜女(紋十郎)。
一九五一	昭和26	1/29	四ツ橋文楽座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一綱・大名一河内・美女一織部・醜女一雛=弥七・清友・寛弘・友十郎・豊助)。 ※昭和26年度大丸会。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九五一	昭和26	2/3~13	四ツ橋文楽座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一河内／静・大名一織の・美女一織部・醜女一静／河内・ツレ 相次・十九=広助・八造・友十郎・清友・新三郎・寛弘・錦糸)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※千穂楽は『松竹百年史』に拠る。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(光次)、醜女(玉五郎)。
一九五一	昭和26	4/3~10	名古屋 御園座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一河内・大名一宮・美女一織部・醜女一越名・十九=広助・新三郎・寛弘・清友)。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(紋司改め 玉五郎)。
一九五一	昭和26	6/29	和歌山県海南市 新富座 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一松島・大名一古住・美女一伊達路・醜女一呂賀=市治郎・ツレ 燕三・団作・勝太郎)。 ※鶴沢道八師=作曲。	(不明)
一九五一	昭和26	8/22~26	京都 南座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一隅若改め 静・大名一十九・美女一長子・醜女一宮・相次=八造・友十郎・清友・新三郎)。	大名(玉男)、太郎冠者(光造改め 栄三)、美女(光次)、醜女(紋司改め 玉五郎)。
△一九五一	昭和26	11/13	金沢市 北国第一劇場 〈三和会〉	(釣 女)	※「北国新聞」(10月28日・11月11日の記事、11月6・11~12日の広告)、「石川新聞」(11月5日の広告)、『三和会公演控』に拠る。	(不明)
一九五二	昭和27	2/17	四ツ橋文楽座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一織の・大名一十九・美女一弘・醜女一織部=寛弘・錦糸・清友・弥七)。 ※NHK公開録音。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五二	昭和27	2/23~25	神戸 繊維会館 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一津・大名一静・美女一織部・醜女一織の=友十郎・新三郎・寛弘・錦糸)。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文昇)、醜女(玉五郎)。
一九五二	昭和27	3/13~20	三越劇場 〈三和会〉	釣 り 女	(太郎冠者一松島・大名一呂賀・美女一伊達路・醜女一古住=市治郎／燕三・一郎右衛門・仙二郎・友若・勝平)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋之助)。
△一九五二	昭和27	3/22	富山 富山座 〈三和会〉	(釣 女)	※北陸巡業(3月21~29日)の内。3月21日長浜・大和劇場、23日高岡・歌舞伎座、26日小松・日本館、27日福井・国際劇場、28日敦賀・国際劇場、29日小浜市・小浜市公会堂で同公演あり。 ※「富山新聞」(3月17・19・22日の広告)、「滋賀新聞」(3月20日の広告)、「北国新聞」(3月22・26日の広告)、「福井新聞」(3月29日の記事、3月10・14・22日の広告)に拠る。	(不明)
		3/24	金沢 北国第一劇場 〈三和会〉		※「北国新聞」(3月24日の記事、3月17・19・24日の広告)、「新夕刊」(3月21日)に拠る。	美女(紋十郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九五二	昭和27	4/30	横浜 神奈川体育館 〈三和会〉	釣 り 女	(太郎冠者一司・大名一松島・美女一伊達路・醜女一古住＝市治郎・燕三・団作・猿二郎)。 ※北陸・関東・東海巡業(4月9日～5月3日)の内。4月10日大垣市・日本劇場(役割不明)、12日松本市・第二公民館(役割不明)、13日長野市・長野市商工会館(役割不明)、14日飯田市・常盤劇場(役割不明)、17日長野県岩村田町・岩村田劇場(役割不明)、18日新潟・高田文化劇場(役割不明)、4月24～25日仙台・仙台劇場で同公演あり(「東海夕刊」(4月10日の広告)、『三和会公演控』、『文楽因会三和会興行記録』、『信濃毎日新聞』(4月11・13・14日の記事、4月4・5・7・10・14・16日の広告)、『河北新報』(4月23日)に拠る)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋之助)。
一九五二	昭和27	9/2～11	中 座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一河内・大名一静・美女一織部・醜女一南部・ツレ相次・十九＝広助・八造・新三郎・藤之助・清好・鱗糸改め喜八郎)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※野沢鱗糸改め野沢喜八郎、大正9年以来の出座(『文楽興行記録昭和篇』)。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五二	昭和27	9/27～28	山口 旧防府商業学 校講堂 〈三和会〉	釣 女	(大名一古住・太郎冠者一松島・美女一伊達路・醜女一伊達＝市治郎／叶太郎・猿二郎・一郎右衛門・団作)。 ※丹後・山陽巡業(15日間)の内。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋之助)。
一九五三	昭和28	1/29～30	名古屋 松坂屋ホール 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一松島・大名一古住・美女一伊達路・醜女一呂賀＝叶太郎・友若・団作・勝平・猿二郎)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋十郎)。
一九五三	昭和28	4	地方公演 (中国・九州) 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一織の・大名一十九・美女一織部・醜女一松＝八造・新三郎・寛弘・藤之助)。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五三	昭和28	6/1～7	四ツ橋文楽座 〈因会〉	釣 女	※人形浄瑠璃女義太夫大顔合せ特別公演。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五三	昭和28	7/5	新潟 新潟劇場 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一河内・大名一十九・美女一織部・醜女一織の＝錦糸・新三郎・寛弘・藤之助・八造)。 ※地方公演(7月2日～)の内。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
△一九五三	昭和28	9/27～28	三原市 帝人工場講堂 〈三和会〉	釣 女	(松島＝友若・勝平)。 ※巡業の内。9月22日米子市・朝日座で同公演あり。 ※「中国新聞」(9月26日)、『山陰新報』(9月21日の広告)、『日本海新聞』(9月21日の広告)に拠る。	(不明)
一九五三	昭和28	11/8～19	地方公演 (北海道) 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一織の・大名一十九・美女一織部・醜女一雛＝豊助・寛弘・藤之助)。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九五四	昭和29	1/25~27	名古屋 御園座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一静・大名一織の・美女一織部・醜女一宮=八造・清友・寛弘・清好・喜八郎・団二郎)。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五四	昭和29	1/25~31	三越劇場 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一松島・大名一古住・美女一呂賀・醜女一伊達路=一郎右衛門・団作・勝平・猿二郎)。 ※鶴沢道八=作曲。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋之助)。
一九五四	昭和29	3/29	門司市 稲荷座 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一司・大名一松島・美女一呂賀・醜女一古住=友若・八助・団作・勝平)。 ※中国・九州巡業(3月20日~4月11日)の内。3月30日佐賀市・勸興小学校講堂、4月3日唐津朝日町・近松座で同公演あり(「佐賀新聞」(3月24日・4月1日の記事、3月28日の広告)に拠る)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、しこめ(紋之助)。
一九五四	昭和29	4/20~	地方公演 (東海・東北・関東) 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一司・大名一松島・美女一古住・醜女一呂賀=一郎右衛門・団作・勝平・友若)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋之助)。
一九五四	昭和29	6/11~15	東京 新橋演舞場 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一静・大名一長子・美女一南部・醜女一雛=豊助・吉三郎・清友・新三郎・寛弘・清好)。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(玉昇)、醜女(玉五郎)。
△	一九五四	昭和29	9/14 前橋市 群馬会館 〈三和会〉	釣 女	※巡業(中部・北陸・関東)の内。9月13日伊勢崎市・伊勢崎市公民館、9月21日甲府市・中央劇場、22日諏訪市・諏訪市民会館で同公演あり。 ※「上毛新聞」(9月13日の広告)、「山梨日日新聞」(9月17日の記事、9月18日の広告)、「南信日日新聞」(9月15日の記事、9月21日の広告)、『三和会公演控』、『文楽因会三和会興行記録』に拠る。	(不明)
△	一九五四	昭和29	11/22 金沢市 北国第一劇場 〈三和会〉	釣 女	※北陸巡業の内。11月20日富山・富山座、11月24日福井・福井市公会堂で同公演あり。 ※「北国新聞」(11月21日の記事、11月18・21日の広告)、「富山新聞」「北陸夕刊」(11月20日の広告)、「福井新聞」(11月18・24日の記事、11月12・14・22日の広告)に拠る。	(不明)
一九五四	昭和29	12/17~19	神戸 八千代劇場 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一南部・大名一十九・美女一織部・醜女一織の=広助・寛弘・団二郎・藤二郎・喜八郎)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五五	昭和30	2/3~22	地方公演 (中国・四国・九州) 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一綱・大名一織の・美女一織部・醜女一南部=弥七・錦糸・新三郎・団二郎・清友)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(玉昇)、太郎冠者(栄三)、美女(光次)、醜女(玉五郎)。
一九五五	昭和30	3/4~13	京都 南座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一静・大名一十九・美女一伊達路・醜女一織部・ツシ相次=豊助・猿糸・錦糸・藤二郎・藤之助・喜八郎)。	大名(玉昇)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九五五	昭和30	3/12~17	三越劇場 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一司・大名一松島・美女一小松・醜女一三和=猿二郎・仙二郎・団作・勝平)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(紋之助)。
					(太郎冠者一松島・大名一古住・美女一小松・醜女一三和=猿二郎・団作・八助・勝平)。 ※第4回よみうりこども劇場 文楽教室。	大名(紋二郎)、太郎冠者(紋四郎)、美女(勘之助)、醜女(紋寿)。
△一九五五	昭和30	3/20	岩手盛岡市県公会堂 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一静・大名一織の・美女一織部・醜女一雛)。 ※巡業(3月16日~、静岡・東北・北陸)の内。3月16日静岡市公会堂、3月19日青森市・国際劇場、3月21日秋田市・スポーツセンター(山王体育館)、3月23日山形・山形市公民館(役割不明)で同公演あり。 ※「岩手日報」(3月3・9・20~21日)、「東奥日報」(3月16日)、「秋田魁新報」(3月20日の記事と広告)、「山形新聞」(3月12・24日の記事、3月21日の広告)に拠る。	大名(玉男)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(紋司)。
一九五五	昭和30	5/1~20	地方公演 (山陰・東海・関東・中部) 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一静・大名一弘・美女一織部・醜女一和佐=猿系・清友・新三郎・寛弘・藤二郎)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(玉昇)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五五	昭和30	7/9~11	名古屋御園座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一和佐・美女一織部・醜女一南部=松之輔・猿系・錦糸・清好・団二郎)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(光次)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五五	昭和30	7/13~19	東京新橋演舞場 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一静・美女一織部・醜女一雛=松之輔・錦糸・新三郎・清好・藤之助・豊助)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(光次)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五五	昭和30	10/17	福岡大博劇場 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一古住・大名一松島・美女一常子・醜女一小松=仙二郎・団作・勝平・猿二郎)。 ※九州巡業(9月27日~)の内。四代目豊竹呂太夫襲名披露。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋之助)。
一九四八 ~ 一九五五カ	昭和23 ~ 昭和30カ	4/5	協和会館	釣 女	(太郎冠者一司・大名一松島・美女一呂賀・醜女一古住=友若・八助・団作・勝平)。 ※大阪文楽鑑賞会。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋二郎)、醜女(紋之助)。
一九五六	昭和31	2/1~4	道頓堀文楽座 〈因会〉	釣 女	※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※人形浄瑠璃女義太夫大合同公演。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五六	昭和31	8/19	貝塚市貝塚市公会堂 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一松島・大名一古住・美女一真砂・醜女一三和=市治郎・仙二郎・団作・猿二郎)。	(不明)
△一九五六	昭和31	9/23	福岡県飯塚市嘉穂劇場 〈三和会〉	(釣 女)	※九州巡業(9月18日~、11日間)の内。 ※「朝日新聞(筑豊版)」(9月22日の広告)に拠る。	(不明)
一九五七	昭和32	1/26~29	道頓堀文楽座 〈因会〉	釣 女	※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※人形浄瑠璃女義太夫大合同公演。	大名(文昇)、太郎冠者(東太郎)、美女(小玉)、醜女(玉昇)。



「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九五七	昭和32	6/22~24	山口 山陽パルプ株 株式会社岩国工 場 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一和佐・大名一十九・美女一弘・醜女一南部=八造・徳太郎・団二郎・喜八郎)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※地方公演(中国・九州)の内。 ※日程は『松竹百年史』に拠る。	大名(玉昇)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九五七	昭和32	12/3~	地方公演 (関東) 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一古住・大名一松島・美女一常子・シコ女一小松=勝太郎・友若・勝平・団作・仙二郎)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋弥)、シコ女(紋之助)。
一九五七	昭和32	12/24~25	道頓堀文楽座 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一綱子・大名一相子・醜女一津の子・美女一南部=弥七・八造・清治・団二郎・藤二郎)。 ※第8回因会若手勉強会。	大名(玉幸)、太郎冠者(小玉)、美女(一暢)、醜女(文雀)。
△一九五八	昭和33	2/14	ラジオ放送 〈因会〉	釣 女	(綱子・相子・津の子)。 ※「朝日新聞(大阪版)」「毎日新聞(大阪版)」「読売新聞(大阪版)」(2月14日)に拠る。	
一九五八	昭和33	6/15	栃木県足利 興国化学講堂 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一古住・大名一松島・美女一常子・醜女一小松=勝太郎・市治郎・勝平・仙二郎・猿二郎)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋之助)、醜女(紋十郎)。
一九五九	昭和34	2/27	横浜 神奈川県立音 楽堂 〈三和会〉	釣 女	※地方公演(東京方面)の内。	(不明)
一九五九	昭和34	6/19~	地方公演 (中国・九 州) 〈三和会〉	釣 女	(太郎一古住・大名一松島・美女+醜女一小松=市治郎・仙二郎・団作)。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(紋二郎)。
一九五九	昭和34	7/17~30	地方公演 (東京都付 近) 〈三和会〉	釣 女	(太郎一古住・大名一松島・美女一若子・醜女一小松=燕三・勝平・仙二郎・団作)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(紋二郎)。
一九五九	昭和34	10/10	和歌山 田辺市立田辺 第一小学校 〈三和会〉	釣 女	(大名一松島・美女+醜女一小松・太郎冠者一古住=勝平・仙二郎・団作・猿二郎)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(紋二郎)。
一九六〇	昭和35	5/27~6/18	地方公演 (東海・関 東) 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一松島・美女+醜女一小松=市治郎・勝平・仙二郎・団作)。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(清十郎)。
一九六〇	昭和35	9/14~	地方公演 (東海・関 東) 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一松島・美女+醜女一小松=市治郎・勝平・仙二郎・団作)。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(清十郎)。

## 「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九六〇	昭和35	10/11	兵庫 兵庫県立星陵 高等学校 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一松島・美女+醜女一小松=市治郎・勝平・仙二郎・団作)。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(紋十郎)。
一九六〇	昭和35	12/4	豊中市 大池小学校講堂 〈三和会〉	釣 女	(大名一松島・太郎冠者一文字・美女一伊達路・シコメ一小松=市治郎・勝平・仙二郎・猿二郎)。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(清十郎)。
一九六一	昭和36	6/9~18	地方公演 (関東・東北・北陸) 〈合同〉	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一伊達路・美女一小松・醜女一南部=勝太郎・錦糸・団六・勝平・藤二郎)。	大名(東太郎)、太郎冠者(栄三)、美女(文雀)、醜女(玉五郎)。
一九六一	昭和36	9/28~10/5	地方公演 (四国) 〈因会〉	釣 女	(太郎冠者一織の・大名一十九・醜女一津の子・美女一相子=徳太郎/錦糸・団二郎・新三郎)。	大名(玉幸)、太郎冠者(東太郎)、美女(小玉)、醜女(文雀)。
一九六二	昭和37	3/26~29	御堂会館 〈三和会〉	釣 女	(太郎一文字・大名一松島・美女一若子・醜女一小松=市治郎・勝平・団作・仙次郎・猿二郎)。 ※桐竹紋二郎改メ三世吉田簗助襲名披露。初代野沢喜左衛門・二代鶴沢寛治郎・四代野沢勝市追善。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(紋二郎改め 簗助)。
一九六二	昭和37	4/18~5/3	地方公演 (東海・関東) 〈三和会〉	釣 女	(太郎一文字・大名一松島・美女+醜女一小松=燕三・勝平・団作)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(清十郎)。
一九六二	昭和37	7/13~22	地方公演 (関東各高校) 〈三和会〉	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一松島・美女+醜女一小松=燕三・勝平・団作)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(清十郎)。
一九六二	昭和37	7/31~8/23	アメリカ・ハワイ 〈両派〉	釣 女	(津・文字・織の・春子=弥七・松之輔・勝太郎・団六・勝平)。	大名(玉昇/東太郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋弥/玉昇)、醜女(紋十郎/清十郎)。
一九六二	昭和37	10/29~ 11/16	地方公演 (東海・関東・中部) 〈三和会〉	釣 女	(太郎一文字・大名一松島・美女+醜女一小松=燕三・勝平・団作)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(清十郎)。
		11/3	東京 青山学院中等部講堂 〈三和会〉		(松島・小松・若子=燕三・勝平・仙二郎・団作)。	
一九六三	昭和38	2/22~	地方公演 (東京) 〈三和会〉	釣 女	(松島・文字・小松=叶太郎・仙二郎・団作)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘之助)、醜女(清十郎)。

## 「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九六三	昭和38	5/11~23	地方公演 (中国・九州)	釣 女	(織・小松・津弥=吉三郎・団二郎・広若・団作)。 ※財団法人「文楽協会」誕生記念地方公演(筋書)。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(簗助)。
一九六三	昭和38	9/28~29	名古屋 愛知文化講堂	釣 女	(太郎冠者一つばめ・大名一十九・美女一南部・醜女一文字・伊達路・相子=喜左衛門・勝太郎・燕三・勝平・団二郎・猿二郎・新三郎)。	大名(清十郎)、太郎冠者(玉市)、美女(玉五郎)、醜女(紋十郎)。
△	昭和39	6/23~26	地方公演 (東京都内)	釣 女	(太郎冠者一文字・美女一松香・醜女一小松=叶太郎・勝平・広若)。 ※文楽協会資料に拠る。	大名(玉男)、太郎冠者(玉市)、美女(文昇)、醜女(紋十郎)。
		6/23	東京 大妻学院		(太郎冠者一文字/春子・美女一松香・醜女一小松=叶太郎・勝平・広若)。 ※文楽協会資料、『昭和39年度人形浄瑠璃因協会年報』、『吉田文雀ノート』に拠る。	
		6/25	東京 大田区民会館		(太郎冠者一文字/源・美女一松香・醜女一小松=勝平・広若・仙二郎//叶太郎・勝平・広若)。 ※文楽協会資料、『吉田文雀ノート』、『大田区民新聞』(6月5日)に拠る。	
		6/26	東京 世田谷区民会館		(源・松香・文字=叶太郎・広若・仙二郎//文字・松香・小松=吉兵衛・勝平・仙二郎)。 ※文楽協会資料、『昭和39年度人形浄瑠璃因協会年報』、『吉田文雀ノート』に拠る。	
一九六四	昭和39	6/27	足利 月見ヶ丘学園 会館	釣 女	(太郎冠者一春子・大名一小松・美女一松香・醜女一若子=松之輔・叶太郎・仙二郎)。	大名(簗助)、太郎冠者(勘十郎)、美女(文昇)、醜女(玉男)。
一九六四	昭和39	7/3~15	朝日座	釣 女	(太郎冠者一相子・大名一大隅・美女一松香/津弥・醜女一南部=団二郎・弥七・団六・清治・勝之輔)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(勘十郎)、太郎冠者(玉市)、美女(文雀)、醜女(栄三)。
一九六四	昭和39	7/18~8/3	地方公演 (関東・甲信越)	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一小松・美女一松香・醜女一源=吉兵衛・団二郎・清治・団作)。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋弥)、醜女(文雀)。
一九六四	昭和39	9/2~22	地方公演 (北陸・北海道・東北・長野)	釣 女	(太郎冠者一津・大名一相子・美女一大隅・醜女一文字=団六・勝太郎・徳太郎・寛弘)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(清十郎)。
一九六四	昭和39	10/15~17	京都 祇園会館	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一綱子・美女一小松・醜女一春子=松之輔・叶太郎・勝平・寛弘)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(文昇)、太郎冠者(勘十郎)、美女(文雀)、醜女(栄三)。
一九六四	昭和39	10/21~27	地方公演 (四国・九州)	釣 女	(太郎冠者+美女一伊達路・大名一相子・醜女一源=叶太郎・団作・寛弘)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(簗助)、太郎冠者(玉市)、美女(文昇)、醜女(玉男)。

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△一九六五	昭和40	3/7	山口 門司文化会館	釣 女	(太郎冠者一大隅・大名一伊達路・美女一小松・醜女一十九=燕三・勝平・団二郎・清治)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※「西日本新聞(北九州版)」(3月2日)、文楽協会資料に拠る。	大名(玉昇)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋弥)、醜女(玉男)。
一九六五	昭和40	11/3~17	朝日座	釣 女	(太郎冠者一綱子/相子/小松・大名一相子/小松/綱子・美女一津弥/松香/小春・醜女一十九/伊達路=団二郎・勝平・錦糸/燕三・清治・寛弘・勝之輔)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※学生文楽教室。	大名(小玉/玉幸)、太郎冠者(簗助/玉昇)、美女(紋寿/一暢)、醜女(清十郎/文雀)。
一九六五	昭和40	11/19~ 12/8	地方公演 (山陽・九州)	釣 女	(太郎冠者一十九・大名一相子・美女一津弥・醜女一綱子=弥七・勝太郎・団二郎・勝之輔)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(紋寿)、太郎冠者(玉昇)、美女(一暢)、醜女(清十郎)。
		11/19	岡山 葦川会館		(太郎冠者一十九・大名一相子・美女一津弥・醜女一綱子=弥七・団二郎・寛弘)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	
		11/24	広島 見真講堂		(太郎冠者一十九/伊達路・大名一相子・美女一津弥・醜女一綱子=弥七/錦糸・団二郎・勝之輔)。 ※文楽教室。 ※文楽協会資料、「中国新聞」(11月22日の広告)に拠る。	
		11/25~27	広島市		(太郎冠者一十九/伊達路・大名一相子/綱子・美女一津弥・醜女一相生/土佐=弥七/錦糸・団二郎・勝之輔//太郎冠者一伊達路・大名一綱子/相子・美女一津弥・醜女一津=吉兵衛/弥七・団二郎・勝之輔)。 ※学生文楽教室。 ※文楽協会資料、『昭和40年度人形浄瑠璃因協会年報』に拠る。	
		12/3	長崎 長崎市民公会堂	(太郎冠者一伊達路・大名一相子・美女一津弥・醜女一綱子=弥七・錦糸・団二郎・勝之輔)。 ※「西日本新聞(長崎県南版)」(12月1日)、文楽協会資料に拠る。		
一九六六	昭和41	3/8~4/9	アメリカ	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一つばめ・美女一春子・醜女一織=団六・松之輔・勝太郎・勝平)。	太郎冠者(勘十郎)、大名(簗助)、美女(文雀)、醜女(栄三)。
一九六七	昭和42	4/18~30	朝日座	釣 女	(太郎冠者一相子・大名一若子・美女一小春・醜女一若=勝太郎・燕三・団六・清治・勝之輔)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※4月18日豊竹若太夫没、醜女を竹本春子太夫が代演(『吉田文雀ノート』に拠る)。	大名(紋弥)、太郎冠者(勘十郎)、美女(一暢)、醜女(清十郎)。
一九六七	昭和42	5/7	倉敷 玉島公会堂	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一相子・美女一小春・醜女一春子=吉兵衛・燕三・勝平・団二郎)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※国際ロータリー加盟認証状伝達式。	大名(小玉)、太郎冠者(簗助)、美女(一暢)、醜女(清十郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九六七	昭和42	10/2	東京 国立劇場 小劇場	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一小松・美女一松香・醜女一織＝重造・団六・勝平・勝之輔)。 ※国際文化振興会文楽観賞のタベ。	大名(清十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(簀助)、醜女(玉五郎)。
一九六七	昭和42	11/25～26	名古屋 中日劇場	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一相子・美女一小春・醜女一若子改め呂＝徳太郎・勝平・団二郎・叶太郎)。	大名(紋弥)、太郎冠者(玉昇)、美女(紋寿)、醜女(清十郎)。
△一九六八	昭和43	1/27	朝 日 座	釣 女	※竹本三蝶一座。女義太夫に人形参加。 ※チラシに拠る。	大名(作十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(小玉)、醜女(簀助)。
一九六八	昭和43	2/25～3/10	東京 国立劇場 小劇場	釣 女	(醜女一土佐・太郎冠者一伊達路・大名一呂・美女一小春＝吉兵衛・錦糸・団二郎・清治)。 ※竹本土佐太夫休演のため、醜女を竹本南部太夫が代演(文楽協会資料、『吉田文雀ノート』、「朝日新聞(東京版)」(3月5日)に拠る)。	大名(小玉)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(清十郎)。
一九六八	昭和43	4/29～5/22	ヨーロッパ (フランス・ドイツ・イタリア・イギリス)	釣 女	(太郎冠者一津・大名一十九・美女一春子・醜女一南部＝松之輔・吉兵衛・徳太郎・勝太郎)。	大名(小玉)、太郎冠者(玉昇/玉男)、美女(紋寿)、醜女(簀助)。
一九六八	昭和43	9/10～25	地方公演 (北陸・信越・関東・東海道)	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一松香・美女一英・醜女一呂＝重造・団二郎・新三郎)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※文楽渡欧・明治百年記念。 ※9月19日以降、豊沢新三郎休演のため、野沢勝太郎が代演(文楽協会資料に拠る)。	大名(小玉)、太郎冠者(玉昇)、美女(紋寿/勘寿)、醜女(簀助/文昇)。
一九六八	昭和43	9/30～10/1・5・11～13	朝 日 座	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一呂・美女一松香・醜女一嶋＝徳太郎・団六・清治・勝之輔)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※第6回学生文楽教室。	大名(紋弥)、太郎冠者(文雀)、美女(紋寿)、醜女(文昇)。
一九六八	昭和43	11/29～12/14	地方公演 (中国・九州)	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一文字・美女一呂・醜女一小松＝徳太郎・勝之輔・吉兵衛・重造)。 ※文楽渡欧・明治百年記念。	大名(紋弥)、太郎冠者(玉昇)、美女(紋寿)、醜女(文雀)。
△一九六九	昭和44	2/2～3	朝 日 座	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一相子・美女一松香・醜女一小松＝燕三・勝平・団二郎・勝之輔)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※大阪労音公演。 ※文楽協会資料、『昭和43年度人形浄瑠璃因協会年報』に拠る。	大名(玉男)、太郎冠者(勘十郎)、美女(文昇)、醜女(簀助)。
△一九六九	昭和44	4/2	横浜 スカイ劇場	釣 女	(太郎冠者一織・大名一伊達路・美女一相子・醜女一南部＝徳太郎・団六・清治・勝之輔)。 ※『吉田文雀ノート』、文楽協会資料に拠る。	大名(作十郎)、太郎冠者(簀助)、美女(紋寿)、醜女(亀松)。
	4/3	東京 千代田区公会堂				

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△一九六九	昭和44	4/20~27	朝日座	釣女	(太郎冠者一十九・大名一咲・美女一英・醜女一小松=徳太郎・団六・清治・勝之輔)。	大名(文昇/紋弥)、太郎冠者(玉昇/簗助)、美女(一暢/小玉)、醜女(清十郎/文雀)。
		4/21			(太郎冠者一十九・大名一咲・美女一英・醜女一小松=徳太郎・勝平・清治・勝之輔)。	大名(文昇)、太郎冠者(玉昇)、美女(紋寿)、醜女(清十郎)。
		4/28~5/5			(太郎冠者一伊達路・大名一相子・美女一松香・醜女一鳥=吉兵衛・団六・勝平・勝之輔)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※学生文楽教室。 ※文楽協会資料、『吉田文雀ノート』に拠る。	大名(文昇/紋弥)、太郎冠者(玉昇/簗助)、美女(一暢/小玉)、醜女(清十郎/文雀)。
一九六九	昭和44	5/6~8	京都ヤサカ会館	釣女	(太郎冠者一文字・大名一松香・美女一嶋・醜女一咲=錦糸・燕三・団二郎・清治)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※桐竹紋寿休演のため、美女を吉田文昇が代演(『吉田文雀ノート』に拠る)。	大名(簗助)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(玉五郎)。
一九六九	昭和44	9/30・10/4・8・11	朝日座	釣女	(太郎冠者一呂・大名一相子・美女一英・醜女一小松=勝太郎・徳太郎・団二郎・勝之輔)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※学生文楽鑑賞教室。	大名(紋弥)、太郎冠者(玉昇)、美女(文昇)、醜女(簗助)。
一九七〇	昭和45	7/7~16	朝日座	釣女	(太郎冠者一相生・大名一相子・美女一小松・醜女一越路=重造・喜左衛門・勝平・勝之輔)。	大名(清十郎)、太郎冠者(勘十郎)、美女(簗助)、醜女(紋十郎)。
		7/17~26		釣女	(太郎冠者一津・大名一松香・美女一嶋・醜女一文字=寛治・勝太郎・団六・団二郎)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(玉男)、太郎冠者(勘十郎)、美女(文雀)、醜女(亀松)。
一九七〇	昭和45	11/2	兵庫伊丹市中央公民館	釣女	(太郎冠者一相子・大名一松香・美女一英・醜女一小松=吉兵衛・団六/道八・団二郎・清治)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※伊丹市制30周年記念。	大名(玉幸)、太郎冠者(勘十郎)、美女(小玉)、醜女(亀松)。
一九七一	昭和46	2/26~28	京都京都府立文化芸術会館	釣女	(太郎冠者一咲・大名一松香・美女一英・醜女一嶋=吉兵衛・錦糸・勝平・団二郎)。 ※吉田栄三2月27日休演のため、醜女を吉田小玉が代演(『吉田文雀ノート』に拠る)。	大名(文雀)、太郎冠者(玉昇)、美女(文昇)、醜女(栄三)。
一九七一	昭和46	12/7~21	地方公演(中国・九州・四国)	釣女	(太郎冠者一織・大名一相子改め相生・美女一松香・醜女一小松=吉兵衛・錦糸・勝平)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※日程は『文楽協会創立二十五周年を記念して一文楽協会』に拠る。	大名(作十郎)、太郎冠者(簗助)、美女(小玉)、醜女(文雀)。
一九七二	昭和47	3/1~20	地方公演(東海・関東・東北)	釣女	(太郎冠者一咲・大名一英・美女一緑・醜女一嶋=吉兵衛・勝平・清治)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(紋寿)、太郎冠者(勘十郎)、美女(勘寿)、醜女(文昇)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九七二	昭和47	3/4~26	オーストラリア	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一伊達路・美女一小松・醜女一越路=燕三・錦糸・団六・松之輔)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(作十郎)、太郎冠者(清十郎)、美女(文雀)、醜女(簗助)。
一九七二	昭和47	10/25	兵庫 芦屋ルナ・ホール	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一松香・美女+醜女一小松=錦糸・勝平・清友)。	大名(玉幸)、太郎冠者(勘十郎)、美女(小玉)、醜女(簗助)。
一九七二	昭和47	11/25	名古屋 中日劇場	釣 女	(太郎冠者一咲・大名一松香・美女一緑・醜女一嶋=錦糸・団六・勝之輔)。 ※学生のための文楽教室。	大名(文昇)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(栄三)。
一九七二	昭和47	11/26	名古屋 中日劇場	釣 女	(太郎冠者一咲・大名一松香・美女一緑・醜女一嶋=錦糸・団六・勝之輔・叶太郎)。 ※吉田栄三休演のため、醜女を吉田文雀が代演(文楽協会資料、『吉田文雀ノート』に拠る)。	大名(文昇)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(栄三)。
△	昭和48	9/29	徳島 徳島郷土文化会館	釣 女	(太郎一伊達路・大名一相生・美女一緑・醜女一小松=勝平・勝司・寛平)。 ※文楽協会資料に拠る。	大名(文昇)、太郎冠者(玉昇)、美女(一暢)、醜女(簗助)。
		9/30	兵庫 洲本市民会館			
△	昭和49	5/27~7/7	ヨーロッパ (イタリア・オーストリア・フランス)	釣 女	(太郎冠者一津・大名一文字・美女一相生・醜女一小松=燕三・団六・団二郎・寛平)。 ※文楽協会資料に拠る。	大名(小玉)、太郎冠者(玉昇)、美女(一暢)、醜女(玉男)。
一九七四	昭和49	8/18~22	地方公演 (東海・近畿)	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一呂・美女一英・醜女一小松=道八・勝平・勝之輔・清介)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※文化庁主催青少年芸術劇場。	大名(文昇)、太郎冠者(玉昇)、美女(紋寿)、醜女(簗助)。
一九七四	昭和49	10/13~27	朝日座	釣 女	(太郎冠者一咲・大名一英・美女一貴/三輪・醜女一嶋=弥七・錦糸・勝之輔・寛平/清介・弥三郎/浅造/勝矢/喜久三郎/松也)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※桐竹一暢10月14~17日休演のため、美女を吉田文雀が代演(『吉田文雀ノート』に拠る)。 ※昭和50年2月23日テレビ放送(「朝日新聞(大阪版)」「毎日新聞(大阪版)」「読売新聞(大阪版)」(昭和50年2月23日)、NHKクロニクルに拠る)。	大名(小玉)、太郎冠者(簗助)、美女(一暢)、醜女(清十郎)。
一九七六	昭和51	5/2	兵庫 明石市民会館 大ホール	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一松香・美女一緑・醜女一南部=道八・団六・勝司・清友)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(文昇)、太郎冠者(玉昇)、美女(小玉)、醜女(簗助)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△一九七六	昭和51	8/30~10/6	ヨーロッパ (イギリス・デンマーク・ベルギー・フランス・チェコ・東ドイツ)	釣 女	(太郎冠者一津・大名一伊達路・美女一嶋・醜女一南部=勝太郎・道八・勝平・団二郎・勝司)。 ※文楽協会資料に拠る。	大名(玉松)、太郎冠者(玉昇)、美女(文昇)、醜女(簀助)。
一九七七	昭和52	6/2~5	京都 京都府立文化芸術会館	釣 女	(太郎冠者一咲・大名一英・美女一津駒・醜女一嶋=団六・団二郎・清友・弥三郎)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(一暢)、太郎冠者(玉昇)、美女(紋寿)、醜女(清十郎)。
一九七八	昭和53	1/2~23	朝日座	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一松香・美女一英・醜女一小松=勝太郎・団二郎・勝司・松也・錦市)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※豊竹松香太夫1月19日休演のため、大名を豊竹英太夫が、美女を竹本津駒太夫が代演(文楽協会資料、『吉田文雀ノート』に拠る)。桐竹一暢1月6~8日休演のため、大名を吉田文昇が代演(『吉田文雀ノート』に拠る)。	大名(一暢)、太郎冠者(勘十郎)、美女(紋寿)、醜女(簀助)。
一九七八	昭和53	1/25~28	朝日座	釣 女	(太郎冠者一三輪・大名一津国・美女一南司・醜女一貴=弥三郎・燕太郎・八介・錦市)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※若手向上会。	大名(玉輝)、太郎冠者(玉女)、美女(清之助)、醜女(簀太郎)。
一九七九	昭和54	2/3~4	名古屋 中日劇場	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一緑・美女一文字栄・醜女一小松=団六・清介・弥三郎・浅造・錦弥)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(小玉)、太郎冠者(勘十郎)、美女(一暢)、醜女(簀助)。
△一九八一	昭和56	6/19	京都 京都ゼミナールハウス	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一英・美女一津駒・醜女一小松=団六・清友・吉之助・八介)。 ※鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※京北町学生文楽教室。 ※文楽協会資料に拠る。	大名(簀太郎)、太郎冠者(小玉)、美女(和生)、醜女(紋寿)。
△一九八二	昭和57	6/29	豊中市 豊中市市民会館	釣 女	※朝日座文楽公演プログラム(昭和58年4月)に拠る。	
一九八二	昭和57	8/14~22	中国	釣 女	(太郎冠者一文字・大名一相生・美女一緑・醜女一小松=錦糸・勝平・勝司・錦弥)。	大名(文吾)、太郎冠者(清十郎)、美女(一暢)、醜女(文雀)。
一九八五	昭和60	1/3~24	国立文楽劇場	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一英・美女一津駒・醜女一嶋=団六・清介・団治・清二郎)。	大名(文昇)、太郎冠者(玉松)、美女(紋寿)、醜女(文雀)。
一九八五	昭和60	5/11~26	東京 国立劇場 小劇場	釣 女	(太郎冠者一伊達路・大名一英・美女一津駒・醜女一小松=勝平・清友・弥三郎・錦弥)。 ※七世竹本住大夫襲名披露。 ※国立文楽劇場開場1周年記念。	大名(作十郎)、太郎冠者(玉松)、美女(簀太郎)、醜女(文雀)。



「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△	一九八五	昭和60	6/21~23・ 26~27	韓国	釣 女 (太郎冠者一呂・大名一松香・美女一津駒・醜女一小松=団六・富助・錦弥・団治)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第4号に拠る。	大名(一暢)、太郎冠者(文吾)、美女(和生)、醜女(文雀)。
	一九八五	昭和60	10/4~7	地方公演 (北陸・関東)	釣 女 (太郎冠者一呂・大名一千歳・美女一織美・醜女一相生=勝平・八介・錦弥・清二郎)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※文化庁移動芸術祭。	大名(玉松)、太郎冠者(文雀)、美女(簗太郎)、醜女(一暢)。
	一九八五	昭和60	10/12~29	地方公演 (北陸・近畿・東海・関東・東北・北海道)	釣 女 (太郎冠者一伊達路・大名一三輪・美女一貴・醜女一嶋=勝平・浅造・八介・燕二郎)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(玉女)、太郎冠者(文雀)、美女(勘寿)、醜女(文昇)。
	一九八六	昭和61	3/8~24	地方公演 (中国・九州・東海・関東)	釣 女 (太郎冠者一小松・大名一津国・美女一英/津駒・醜女一相生=清友・清介・弥三郎・清二郎)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(簗太郎)、太郎冠者(簗助)、美女(清之助)、醜女(一暢)。
	一九八七	昭和62	8/3~16	国立文楽劇場	釣 女 (醜女一嶋・太郎冠者一相生・大名一英・美女一三輪=富助・燕二郎・団治・清吾)。	大名(作十郎)、太郎冠者(文雀)、美女(勘寿)、醜女(玉男)。
△	一九八八	昭和63	10/17~25	地方公演 (東北・北海道)	釣 女 (太郎冠者一呂・大名一英・美女一呂勢・醜女一文字久=清友・弥三郎・錦弥)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=作曲。 ※文化庁主催中学生のための文楽教室。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第7号に拠る。	大名(簗太郎)、太郎冠者(簗助)、美女(清之助)、醜女(文吾)。
△	一九八八	昭和63	11/25~27	京都 京都府民ホール	釣 女 (太郎冠者一咲・大名一英・美女一津駒・醜女一相生=団六・清介・団治・清二郎)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※『国立文楽劇場十年史』では三味線に鶴沢燕二郎が加わる。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第7号に拠る。	大名(簗太郎)、太郎冠者(文吾)、美女(勘寿)、醜女(文雀)。
△	一九八九	平成1	10/17~25	地方公演 (関東)	釣 女 (醜女一呂・太郎冠者一津駒・大名一三輪・美女一呂勢=団七・富助・弥三郎・団吾)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※文化庁主催中学生のための文楽教室。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第8号に拠る。	大名(勘寿)、太郎冠者(玉幸)、美女(清之助)、醜女(一暢)。
△	一九八九	平成1	10/28	尼崎 尼崎市立大庄 地区会館	釣 女 (醜女一呂・太郎冠者一津駒・他=団七・富助・他)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※近松ナウニ崎公演。 ※『国立文楽劇場十年史』に拠る。	大名(勘寿)、太郎冠者(玉幸)、醜女(一暢)。
	一九九〇	平成2	8/7~19	国立文楽劇場	釣 女 (太郎冠者一咲・大名一松香・美女一三輪・醜女一伊達=喜左衛門・燕二郎・団治・喜一郎)。	大名(文吾)、太郎冠者(玉松)、美女(和生)、醜女(紋寿)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△	一九九〇	平成2	10/22~27	地方公演 (近畿)	釣 女 (太郎冠者一呂・大名一津駒・美女一呂勢・醜女一小松=清友・錦弥・団治・清二郎)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※文化庁主催中学生のための文楽教室。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第9号に拠る。	大名(玉輝)、太郎冠者(簀太郎)、美女(勘寿)、醜女(簀助)。
△	一九九一	平成3	6/16	西宮 白鹿記念酒造 博物館たつみ 蔵	釣 女 (太郎冠者一緑・醜女一津駒・他=八介・他)。 ※西宮酒蔵公演。 ※『国立文楽劇場十年史』に拠る。	大名(和生)、太郎冠者(文雀)、美女(清之助)、醜女(一暢)。
△	一九九一	平成3	10/1~13	イギリス	釣 女 (太郎冠者一津駒・大名一津梅・美女一呂勢・醜女一文字久=錦弥・弥三郎・八介・喜一郎)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※ジャパンフェスティバル公演。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第10号に拠る。	大名(玉女)、太郎冠者(一暢)、美女(和生)、醜女(文昇)。
△	一九九一	平成3	10/22~26	地方公演 (中部・北 陸)	釣 女 (太郎冠者一津駒・大名一文字久・美女一呂勢・醜女一呂=錦弥・燕二郎・喜一郎)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※文化庁中学生のための文楽教室。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第10号に拠る。	大名(玉女)、太郎冠者(一暢)、美女(和生)、醜女(文昇)。
△	一九九二	平成4	9/28~10/2	地方公演 (東海)	釣 女 (太郎冠者一英・大名一貴・美女一呂勢・醜女一松香=団七・弥三郎・団治・団吾)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※文化庁主催移動芸術祭。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第10号に拠る。	大名(文司)、太郎冠者(文吾)、美女(勘寿)、醜女(簀太郎)。
	一九九二	平成4	10/7~25	地方公演 (近畿・東 海・関東・北 陸)	釣 女 (太郎冠者一英・大名一貴・美女一呂勢・醜女一松香=団七・弥三郎・団治・団吾)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。	大名(文司)、太郎冠者(文吾)、美女(勘寿)、醜女(簀太郎)。
	一九九二	平成4	10/12	千葉 聖徳学園川並 記念講堂	釣 女 (太郎冠者一英・大名一貴・美女一呂勢・醜女一松香=団七・弥三郎・団治・団吾)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※聖徳学園人形浄瑠璃文楽鑑賞会。	大名(文司)、太郎冠者(文吾)、美女(勘寿)、醜女(簀太郎)。
△	一九九二	平成4	10/20~27	地方公演 (四国・中 国)	釣 女 (太郎冠者一小松・大名一津国・美女一千歳・醜女一三輪=清介/富助・八介・浅造)。 ※初代鶴沢道八=作曲・榎茂都陸平=振付。 ※文化庁主催中学生のための文楽教室。 ※『国立文楽劇場十年史』、『文楽』第10号に拠る。	大名(玉幸)、太郎冠者(文雀)、美女(和生)、醜女(一暢)。

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九九二	平成4	12/4~16	東京 国立劇場 小劇場	釣 女	(太郎冠者一相生・大名一緑／英・美女一三輪・醜女一小松＝清友・八介・浅造・団吾・喜一郎)。 ※竹本相生太夫休演のため、太郎冠者を豊竹松香太夫が代演。豊竹小松太夫休演のため、醜女を竹本津駒太夫が代演。鶴沢八介休演のため、三枚目の鶴沢浅造以下を繰り上げ、ダブルキャストの竹沢団吾、野沢喜一郎が通して勤めた。	大名(玉女)、太郎冠者(簗太郎)、美女(勘寿)、醜女(一暢／紋寿)。
△ 一九九三	平成5	2/26~3/2	地方公演 (山陽・四国・九州)	釣 女	(太郎冠者一津駒・大名一貴・醜女一千歳・他＝団六・清友・他)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※文化庁主催中学生のための文楽教室。 ※竹沢団六3月2日休演のため、シンを鶴沢清友が代演、二枚目に鶴沢八介が出演。 ※『国立文楽劇場十年史』に拠る。	大名(玉也)、太郎冠者(一暢)、美女(勘寿)、醜女(簗助)。
一九九三	平成5	2/28~3/22	地方公演 (近畿・中国・東海・関東・四国・九州)	釣 女	(太郎冠者一伊達・大名一津国・美女一始・醜女一南都＝弥三郎・団治・清太郎／喜一郎・団吾)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。	大名(和生)、太郎冠者(玉女)、美女(玉英)、醜女(玉松)。
一九九三	平成5	3/3	堺市立金岡南 中学校	釣 女	(太郎冠者一津駒・大名一貴・美女一呂勢・醜女一千歳＝清友・八介・喜一郎・団市)。 ※芸術鑑賞会・中学生のための文楽教室。	大名(玉也)、太郎冠者(一暢)、美女(勘寿)、醜女(簗助)。
△ 一九九三	平成5	10/1~8	地方公演 (沖縄・九州)	釣 女	(太郎冠者一呂・大名一津駒・醜女一小松・他＝団七・錦弥・弥三郎・他)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※文化庁主催中学生のための文楽教室。 ※『国立文楽劇場十年史』に拠る。	大名(玉女)、太郎冠者(玉松)、美女(簗太郎)、醜女(簗助)。
一九九三	平成5	11/6~28	国立文楽劇場	釣 女	(太郎冠者一呂・大名一英・美女一津駒・醜女一嶋＝錦弥・燕二郎・浅造・団吾)。 ※文化庁創設25周年記念。	大名(玉女)、太郎冠者(一暢)、美女(和生)、醜女(玉松)。
一九九三	平成5	12/23~24	倉敷 倉敷市芸文館	釣 女	(太郎冠者一千歳・大名一文字久・美女一呂勢・醜女一嶋＝富助・団治・喜一郎・団吾)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。	大名(玉也)、太郎冠者(簗太郎)、美女(玉英)、醜女(簗助)。
△ 一九九四	平成6	9/30~10/7	地方公演 (北陸・中京)	釣 女	(太郎冠者一小松・大名一貴・醜女一千歳・他＝錦弥・弥三郎・他)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※文化庁主催中学生のための文楽教室。 ※国立文楽劇場第58回文楽公演解説書(平成7年4月)に拠る。	大名(玉女)、太郎冠者(文吾)、美女(和生)、醜女(文昇)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△	一九九五	平成7	8/26~27	広島 厳島神社能舞台	釣 女 (太郎冠者一緑・大名一文字久・美女一咲甫・醜女一英＝錦弥・宗助・清太郎・清志郎)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※厳島神社御鎮座千四百年記念公演。 ※チラシに拠る。	大名(清之助)、太郎冠者(玉女)、美女(文司)、醜女(和生)。
△	一九九五	平成7	9/30~10/7	地方公演 (四国・山陽)	釣 女 (太郎冠者一小松・大名一貴・醜女一英・他＝清友・清介・他)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※文化庁主催中学生のための文楽公演。 ※国立文楽劇場第62回文楽公演解説書(平成8年4月)に拠る。	大名(簗太郎)、太郎冠者(玉幸)、美女(清之助)、醜女(文昇)。
	一九九六	平成8	6/28~30	京都 南 座	釣 女 (太郎冠者一小松・大名一松香・美女一貴／三輪・醜女一相生＝団七・燕二郎・団吾・団市)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※第2回文楽京都公演。	大名(玉輝)、太郎冠者(玉女)、美女(玉英)、醜女(文昇)。
△	一九九七	平成9	5/1	国立文楽劇場	釣 女 (太郎冠者一呂・大名一貴・醜女一千歳・他＝富助・宗助・清二郎・他)。 ※セール・オオサカ公演。 ※国立文楽劇場第70回文楽公演解説書(平成10年4月)に拠る。	大名(玉女)、太郎冠者(一暢)、美女(勘寿)、醜女(紋寿)。
	一九九七	平成9	9/28~ 10/16	地方公演 (信越・東海・関東・北海道・東北)	釣 女 (太郎冠者一松香・大名一津国・美女一南都・醜女一貴＝弥三郎・宗助・喜一郎・団市)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。	大名(和生)、太郎冠者(玉幸)、美女(勘弥)、醜女(文昇)。
	一九九八	平成10	1/3~25	国立文楽劇場	釣 女 (太郎冠者一伊達・大名一津駒・美女一千歳・醜女一小松＝団六・団七・弥三郎・団吾・団市)。	大名(玉幸／文吾)、太郎冠者(文雀)、美女(文司／玉英)、醜女(簗太郎)。
	一九九八	平成10	3/3~24	地方公演 (近畿・中国・九州・四国・東海・関東・北陸)	釣 女 (太郎冠者一伊達・大名一文字久・美女一呂勢・醜女一貴＝団七・弥三郎・団吾・清志郎)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。	大名(玉也／玉輝)、太郎冠者(文吾／一暢)、美女(亀次)、醜女(勘寿)。
	一九九八	平成10	6/5~25	国立文楽劇場	釣 女 【5~15日午前】(太郎冠者一英・大名一津国・美女一始・醜女一三輪＝燕二郎・宗助・清二郎・団市)。 【5~15日午後】(太郎冠者一松香・大名一呂勢・美女一文字栄・醜女一貴＝錦糸・宗助・清二郎・団吾)。 【16~25日午前】(太郎冠者一津駒・大名一貴・美女一新・醜女一千歳＝弥三郎・八介・清太郎・喜一郎)。 ※鶴沢清太郎休演のため、鶴沢清志郎が代演。 【16~25日午後】(太郎冠者一緑・大名一文字久・美女一咲甫・醜女一南都＝清友・八介・清太郎・清志郎)。 ※第15回文楽鑑賞教室。 ※鶴沢清太郎休演のため、鶴沢清二郎が代演。	大名(玉輝)、太郎冠者(和生)、美女(亀次)、醜女(勘寿)。 大名(文司)、太郎冠者(玉女)、美女(勘弥)、醜女(清之助)。 大名(玉也)、太郎冠者(一暢)、美女(簗二郎)、醜女(玉松)。 大名(勘緑／玉志)、太郎冠者(簗太郎)、美女(清三郎)、醜女(玉英)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△	二〇〇二	平成14	9/30~ 10/20	ブラジル・メ キシコ	釣 女 (太郎冠者一文字久・大名一咲甫・美女一睦・毎回替り 醜女一 津駒／英＝毎回替り 宗助／燕二郎・清太郎・喜一郎・清志 郎)。 ※文楽地方公演プログラム(平成15年3月)に拠る。	大名(幸助)、太郎冠者(玉女)、美女(勘 弥)、醜女(簀太郎)。
△	二〇〇三	平成15	1/31~2/1	ドーンセン ター	釣 女 (太郎冠者一咲甫・大名一相子・美女一睦・醜女一つばさ＝清太 郎・清志郎・清麩・清丈)。※文楽若手自主公演第9回十色会。 ※チラシに拠る。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(紋秀／玉勢)、太郎冠者(一輔／勘市)、 美女(玉一郎)、醜女(幸助／勘緑)。
	二〇〇三	平成15	2/8~23	東京 国立劇場 小劇場	釣 女 (太郎冠者一英・大名一新・美女一つばさ・醜女一呂勢＝団七・ 清太郎・団吾・清麩・清丈)。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(玉也)、太郎冠者(玉女)、美女(勘弥／ 清三郎)、醜女(和生)。
	二〇〇三	平成15	6/28~29	京都 南 座	釣 女 (太郎冠者一津駒・大名一新・美女一つばさ・醜女一咲甫＝団 七・弥三郎・喜一郎・団吾・清丈／龍串)。 ※鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※第9回文楽京都公演。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(玉輝)、太郎冠者(玉也)、美女(和 右)、醜女(玉英)。
	二〇〇三	平成15	9/27~ 10/20	地方公演 (中京・近 畿・北陸・関 東・東北・北 海道・山陽)	釣 女 (太郎冠者一咲・大名一南都・美女一咲甫・醜女一貴＝清友・団 吾・清志郎・清丈)。 ※初世鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(勘緑)、太郎冠者(玉也)、美女(清三 郎)、醜女(文司)。
	二〇〇四	平成16	2/29~3/21	地方公演 (近畿・山 陽・九州・四 国・東海・関 東)	釣 女 (太郎冠者一小松・大名一貴・美女一睦／相子・醜女一伊達＝富 助・喜一郎・龍串／清丈・龍爾)。 ※初世鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(幸助)、太郎冠者(玉輝)、美女(玉 英)、醜女(紋寿)。
	二〇〇五	平成17	9/4	河内長野市 ラプリーホー ル大ホール	釣 女 (太郎冠者一綱・大名一英・美女一呂勢・醜女一伊達＝清二郎・ 清志郎・清麩)。 ※初代鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※古典芸能鑑賞会。	大名(玉志)、太郎冠者(玉女)、美女(玉 英)、醜女(和生)。
	二〇〇六	平成18	8/26~27	愛媛 内 子 座	釣 女 (太郎冠者一文字久・大名一新・美女一咲甫・醜女一呂勢＝宗 助・清志郎・清麩・清丈)。 ※初世鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 ※第10回内子座文楽。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(清三郎)、太郎冠者(玉女)、美女(一 輔)、醜女(勘十郎)。
	二〇〇六	平成18	9/29~ 10/25	地方公演 (近畿・東 海・北海道・ 関東・東北・ 中国)	釣 女 (太郎冠者一新・大名一咲甫・美女一つばさ・醜女一南都＝宗 助・清麩・清丈・清公)。 ※初世鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(幸助)、太郎冠者(文司)、美女(和 右)、醜女(勘弥)。

## 「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
二〇〇七	平成19	3/4~24	地方公演 (中国・九州・近畿・関東・北陸・東海)	釣 女	(太郎冠者一英・大名一文字栄・美女一希／靖・醜女一睦／相子＝団七・団吾・清丈・寛太郎)。 ※初世鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(幸助)、太郎冠者(簗二郎)、美女(一輔)、醜女(勘弥)。
二〇〇七	平成19	7/21~8/9	国立文楽劇場	釣 女	(太郎冠者一千歳・大名一文字久・美女一睦・醜女一呂勢＝清治・喜一郎・清志郎・清道・清公)。 ※吉田文雀休演のため、醜女を吉田和生が代演。	大名(玉輝)、太郎冠者(文吾)、美女(和右)、醜女(文雀)。
二〇一〇	平成22	5/30	岐阜相生座	釣 女	(太郎冠者一靖・大名一芳穂・美女一醜女一呂勢＝宗助・清丈・清道・清公)。 ※初世鶴沢道八＝作曲。 ※第3回相生座文楽公演。 *「清丈」の丈、「芳穂」の芳は異体字。	大名(幸助)、太郎冠者(勘十郎)、美女(清五郎)、醜女(簗助)。
二〇一〇	平成22	9/26~10/17	地方公演 (近畿・北陸・関東・中国・東海・東北)	釣 女	(太郎冠者一英・大名一芳穂・美女一靖・醜女一三輪＝清二郎・清道・清丈)。 ※初世鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。 *「清丈」の丈、「芳穂」の芳は異体字。	大名(幸助)、太郎冠者(清十郎)、美女(一輔)、醜女(勘十郎)。
二〇一一	平成23	2/26~3/20	地方公演 (中国・九州・東海・関東・近畿)	釣 女	(太郎冠者一咲甫・大名一文字栄・美女一つばさ・醜女一南都＝錦糸・寛太郎・龍爾)。 ※初世鶴沢道八＝作曲・榎茂都陸平＝振付。	大名(清五郎)、太郎冠者(玉女)、美女(一輔)、醜女(和生)。
二〇一一	平成23	6/25~26	国立文楽劇場	釣 女	(太郎冠者一靖・大名一希・美女一咲寿／小住・醜女一つばさ＝清丈・龍爾・寛太郎・清公・錦吾)。 ※第11回文楽若手会。国立文楽劇場文楽既成者研修発表会。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(玉勢)、太郎冠者(清五郎)、美女(簗紫郎)、醜女(紋臣)。
二〇一一	平成23	8/20~21	愛媛内子座	釣 女	(太郎冠者一呂勢・大名一咲甫・美女一芳穂・醜女一つばさ＝清治・清志郎・清道)。 ※榎茂都陸平＝振付。 ※第15回内子座文楽。 *「芳穂」の芳は異体字。	大名(文昇)、太郎冠者(和生)、美女(紋臣)、醜女(簗二郎)。
二〇一三	平成25	4/6~29	国立文楽劇場	釣 女	(太郎冠者一英・大名一咲甫・美女一芳穂・醜女一三輪＝団七・団吾・龍爾・清公)。 ※文楽協会創立50周年記念。竹本義太夫三〇〇回忌。 *「芳穂」の芳は異体字。	大名(文昇)、太郎冠者(玉也)、美女(一輔)、醜女(紋寿)。
二〇一四	平成26	9/27~10/18	地方公演 (近畿・東海・北陸・関東・東北・信州)	釣 女	(太郎冠者一咲甫・大名一始・美女一咲寿・醜女一三輪＝藤蔵・団吾・清道・清公)。 ※榎茂都陸平＝振付。	大名(玉志)、太郎冠者(玉也)、美女(清五郎)、醜女(簗二郎)。

「釣女」上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
二〇一五	平成27	3/7~28	地方公演 (中国・九州・関東・近畿・東海)	釣 女	(太郎冠者一咲甫・大名一睦・美女一咲寿・醜女一靖=宗助・龍爾・燕二郎・清允)。 ※榎茂都陸平=振付。	大名(玉志)、太郎冠者(文司)、美女(一輔)、醜女(勘弥)。
二〇一五	平成27	12/19~20	福岡博多座	釣 女	(太郎冠者一呂勢・大名一靖・美女一咲寿・醜女一咲甫=清治・藤蔵・清旭・龍爾・燕二郎)。 ※榎茂都陸平=振付。 ※吉田玉女改め二代目吉田玉男襲名披露公演。	大名(簀二郎)、太郎冠者(文司)、美女(一輔)、醜女(清十郎)。
二〇一六	平成28	1/3~26	国立文楽劇場	釣 女	(太郎冠者一津駒・大名一芳穂・美女一希・醜女一咲甫=団七・清丈・龍爾・燕二郎)。 *「清丈」の丈、「芳穂」の芳は異体字。	大名(文昇)、太郎冠者(一輔)、美女(紋臣)、醜女(玉佳)。
二〇一九	令和1	8/24~25	愛媛内子座	釣 女	(太郎冠者一呂勢・大名一希・美女一亘・醜女一織=藤蔵・清丈・清允)。 ※榎茂都陸平=振付。 ※第23回内子座文楽。 *「清丈」の丈は異体字。	大名(玉勢)、太郎冠者(玉男)、美女(玉誉)、醜女(一輔)。
二〇二〇	令和2	3/4~15	地方公演 (九州・関東)	釣 女	(太郎冠者一睦・大名一小住・美女一碩・醜女一芳穂=団七・団吾・清丈)。 ※榎茂都陸平=振付。 *「清丈」の丈、「芳穂」の芳は異体字。	大名(文哉)、太郎冠者(玉助)、美女(紋秀)、醜女(紋臣)。
二〇二〇	令和2	9/30~10/18	地方公演 (北海道・北陸・東海・関東)	釣 女	(太郎冠者一藤・大名一津国・美女一亘・醜女一三輪=清旭・清公・清允)。 ※榎茂都陸平=振付。	大名(玉誉)、太郎冠者(勘市)、美女(紋吉)、醜女(簀紫郎)。
二〇二〇	令和2	10/31~11/23	国立文楽劇場	釣 女	(太郎冠者一藤・大名一芳穂・美女一希・醜女一三輪=団七・清旭・清公・清允)。 *「芳穂」の芳は異体字。	大名(玉勢)、太郎冠者(玉佳)、美女(紋臣)、醜女(勘弥)。
二〇二一	令和3	3/4~15	地方公演 (九州・中部・関東)	釣 女	(太郎冠者一睦・大名一小住・美女一碩・醜女一芳穂=団七・団吾・清丈)。 *「清丈」の丈、「芳穂」の芳は異体字。	大名(文哉)、太郎冠者(玉助)、美女(紋秀)、醜女(紋臣)。